

診療用高エネルギー放射線発生装置に関する構造設備概要書

診療施設名： _____

イ 診療用高エネルギー放射線発生装置の製作者名、型式及び台数

製作者名	
型式	
台数	
使用開始年月日	年 月 日

ロ 診療用高エネルギー放射線発生装置の定格出力

定格出力	電子線	MeV
	エックス線	MV

ハ 診療用高エネルギー放射線発生装置及び診療用高エネルギー放射線発生装置使用室の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

ハー 1 診療用高エネルギー放射線発生装置の放射線障害の防止に関する予防措置の概要

発生管容器の漏えい放射線 (利用線すいの放射線量の 1/1000)	以下 ・ 超える
照射終了直後の不要放射線からの防護措置	有 ・ 無
放射線発生時の自動表示装置	有 ・ 無
インターロック装置	有 ・ 無

ハー 2 診療用高エネルギー放射線発生装置使用室の放射線障害の防止に関する構造設備の概要

使用の場所		
建築物の構造		耐火構造 ・ 不燃材料
使用 室の 防護 物の	しゃへい物	構造 、 材料 、 厚さ
	天井	
	床	
	周囲	(東)

概要	の 画壁 等	(西)	
		(南)	
		(北)	
		出入口の扉	
出入口の放射線発生時の自動表示装置		有 ・ 無	
操作する場所		使用室外 ・ 使用室内	
使用室の標識		有 ・ 無	

※隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した診療用高エネルギー放射線発生装置使用室の平面図及び側面図を添付すること。

※使用室の平面図及び側面図は、照射方向、発生管の中心から天井、床及び周囲の画壁の外側までの距離（メートル）並びに防護物の材料及び厚さを記入した縮図とすること。

放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示		有 ・ 無
画壁等外側の実効線量が1ミリシーベルト/週以下となる措置		有 ・ 無
管理区域	管理区域を設ける場所	別添図面のとおり
	境界における実効線量が 1.3ミリシーベルト/3月以下となる措置	有 ・ 無
	立入制限措置	有 ・ 無
	標識	有 ・ 無
敷地の境界 等	敷地内居住区域及び境界における実効線量が 250マイクロシーベルト/3月以下となる措置	有 ・ 無
防護用具の保有状況	有 ・ 無	
取扱者の被ばく測定器	有 ・ 無	
使用室の放射線測定器の 保有状況	有 ・ 無 (測定器名： 数量：)	

※管理区域の標識等の位置を使用室の平面図及び側面図中に記入すること。

ニ 診療用高エネルギー放射線発生装置を使用する獣医師の氏名及び放射線診療に関する経歴

氏名	放射線診療に関する経歴（従事年数、研修受講状況等）

※放射線診療に関する経歴欄には、獣医師が放射線診療に携わった場所、従事期間及び研修受講状況等を記入すること。

ホ 放射性同位元素による放射線障害の防止に関する法律第 9 条第 2 項第 1 号の許可の年月日及び許可の番号並びに同法第 34 条第 1 項の規定により選任された放射線取扱主任者の氏名

使用許可年月日	年 月 日	使用許可番号	
放射線取扱主任者氏名			

※放射線同位元素等による放射線障害の防止に関する法律（昭和 32 年法律第 176 号）に基づく使用許可を取得した申請書の写しを 1 部添付すること。

診療用放射線照射装置に関する構造設備概要書

診療施設名： _____

イ 診療用放射線照射装置の製作者名、型式及び個数並びに装備する放射性同位元素の種類及びベクレル単位をもって表した数量

製作者名	
型式	
個数	
装備する放射性同位元素の種類	
装備する放射性同位元素の数量（ベクレル）	
用途	
使用開始年月日	年 月 日

ロ 診療用放射線照射装置、診療用放射線照射装置使用室、貯蔵施設及び運搬容器並びに診療用放射線照射装置により治療を受けている飼育動物を収容する施設の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

ロー 1 診療用放射線照射装置に関する予防措置の概要

放射線源収納容器の漏えい放射線 70 マイクログレイ/時（線源から1メートル）	以下 ・ 超える
二次電子ろ過板	有 ・ 無
照射口開閉用遠隔操作装置	有 ・ 無

ロー 2 診療用放射線照射装置使用室の放射線障害の防止に関する構造設備の概要

使用の場所			
建築物の構造	耐火構造 ・ 不燃材料		
使用 室の 防護 物の 概要	しゃへい物	構造 、 材料 、 厚さ	
	天井		
	床		
	周囲	(東)	
	の画	(西)	

	壁等	(南)	
		(北)	
	出入口の扉		
出入口の放射線発生時の自動表示装置		有 ・ 無	
操作する場所		使用室外 ・ 使用室内	
使用室の標識		有 ・ 無	

※隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した診療用放射線照射装置使用室の平面図及び側面図を添付すること。

※診療用放射線照射装置使用室の平面図及び側面図は、その各室ごとに照射方向、線源の中心から天井、床及び周囲の画壁の外側までの距離（メートル）並びに防護物の材料及び厚さを記入した縮図とすること。

ロー 3 貯蔵施設の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

貯蔵の方法		貯蔵室 ・ 貯蔵箱				
貯蔵室又は貯蔵箱の場所		別添図面のとおり				
貯蔵施設の構造		耐火構造（鉄筋コンクリート・金庫・その他（ ））				
措置事項		天井	壁	床	出入口	開口部
しゃへい物	構造					
	材料					
	厚さ					
貯蔵室の出入口の構造	出入口の数	通常出入口 箇所 ・ 非常口 箇所				
	特定防火設備に該当する防火戸	有 ・ 無				
	閉鎖設備	かぎ ・ その他（ ）				
貯蔵箱の閉鎖設備		かぎ ・ その他（ ）				
貯蔵施設の標識		有 ・ 無				
貯蔵容器の構造及び汚染防止措置	1m の距離における実効線量率	百マイクロシーベルト毎時以下 ・ 超える				
	空気汚染防止措置	有 ・ 無				
	液体のこぼれ防止措置	有 ・ 無				
	浸透防止措置	有 ・ 無				
	貯蔵容器の標識	有 ・ 無				
	貯蔵物の種類及び数量の表示	有 ・ 無				

受皿・吸収剤	有 ・ 無
--------	-------

※隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した貯蔵室の平面図及び側面図を添付すること。

※貯蔵室の平面図及び側面図は、その各室ごとに照射方向、線源の中心から天井、床及び周囲の画壁の外側までの距離（メートル）並びに防護物の材料及び厚さを記入した縮図とすること。

ロー 4 運搬容器の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

1m の距離における実効線量	百マイクロシーベルト毎時以下 ・ 超える
空気汚染防止措置	有 ・ 無
液体のこぼれ防止措置	有 ・ 無
浸透防止措置	有 ・ 無
運搬容器の標識	有 ・ 無
運搬物の種類及び数量の表示	有 ・ 無

ロー 5 診療用放射線照射装置により治療を受けている飼育動物を収容する施設の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

建築物の構造		耐火構造・不燃材料				
措置事項		天井	壁	床	出入口	開口部
しゃへい物	構造					
	材料					
	厚さ					
汚染のおそれのある場所の構造設備	突起物、くぼみ	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	目地、すきま	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	平滑施工をした表面仕上	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
構造設備	耐腐食性・耐浸透性	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
収容室の標識		有 ・ 無				
汚染検査に必要な放射線測定器		有 ・ 無				
汚染除去用器材		有 ・ 無				
洗浄設備		有 ・ 無				
更衣設備		有 ・ 無				

洗浄設備の排水施設への連結	有 ・ 無
通気口	有 ・ 無
通気口の排気口への連結	有 ・ 無

※隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した治療病室の平面図及び側面図を添付すること。

※治療病室の平面図及び側面図は、その各室ごとに照射方向、線源の中心から天井、床及び周囲の画壁の外側までの距離（メートル）並びに防護物の材料及び厚さを記入した縮図とすること。

放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示		有 ・ 無
画壁等外側の実効線量が1ミリシーベルト/週以下となる措置		有 ・ 無
管理 区域	管理区域を設ける場所	別添図面のとおり
	境界における実効線量が 1.3ミリシーベルト/3月以下となる措置	有 ・ 無
	立入制限措置	有 ・ 無
	標識	有 ・ 無
敷地の 境界等	敷地内居住区域及び境界における実効線量が 250マイクロシーベルト/3月以下となる措置	有 ・ 無
防護用具の保有状況	有 ・ 無	
取扱者の被ばく測定器	有 ・ 無	
使用室の放射線測定器の保有状況	有 ・ 無 (測定器名： 数量：)	

※管理区域の標識等の位置を使用室の平面図及び側面図中に記入すること。

ハ 診療用放射線照射装置を使用する獣医師の氏名及び放射線診療に関する経歴

氏名	放射線診療に関する経歴（従事年数、研修受講状況等）

※放射線診療に関する経歴欄には、獣医師が放射線診療に携わった場所、従事期間及び研修受講状況等を記入すること。

ニ 放射性同位元素による放射線障害の防止に関する法律第9条第2項第1号の許可の年月日及び許可の番号並びに同法第34条第1項の規定により選任された放射線取扱主任者の氏名

使用許可年月日	年 月 日	使用許可番号	
放射線取扱主任者氏名			

※放射線同位元素等による放射線障害の防止に関する法律（昭和 32 年法律第 176 号）に基づく使用許可を取得した申請書の写しを 1 部添付すること。

診療用放射線照射器具に関する構造設備概要書

診療施設名： _____

イ 診療用放射線照射器具の型式及び個数並びに装備する放射性同位元素の種類及びベクレル単位をもって表した数量

製作者名	
型式	
個数	
装備する放射性同位元素の種類	
装備する放射性同位元素の数量（ベクレル）	
用途	
使用開始年月日	年 月 日

※装備する放射性同位元素の物理的半減期が三十日以下であるものを備えた診療施設にあっては、その年に使用を予定する診療用放射線照射器具の型式及び個数並びに装備する放射性同位元素の種類及びベクレル単位をもって表した数量並びにベクレル単位をもって表した放射性同位元素の種類ごとの最大貯蔵予定数量及び一日の最大使用予定数量

※イにより届出されている数量等を超える量の診療用放射線照射器具の使用を予定する場合には、ロに定める「放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要」の変更に当たるので、変更の届出が必要

ロ 診療用放射線照射器具使用室、貯蔵施設及び運搬容器並びに診療用放射線照射器具により治療を受けている飼育動物を収容する施設の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

ロー1 診療用放射線照射器具使用室に関する構造設備及び予防措置の概要

使用の場所		
建築物の構造		耐火構造 ・ 不燃材料
使用 室の 防護 物の 概要	しゃへい物	構造 、 材料 、 厚さ
	天井	
	床	
	周囲	(東)
	の画	(西)
	壁等	(南)
		(北)

	出入口の扉	
使用室の標識	有 ・ 無	

※隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した診療用放射線照射器具使用室の平面図及び側面図を添付すること。

※診療用放射線照射器具使用室の平面図及び側面図は、その各室ごとに線源の中心から天井、床及び周囲の面壁の外側までの距離（メートル）並びに防護物の材料及び厚さを記入した縮図とすること。

ロー2 貯蔵施設の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

貯蔵の方法		貯蔵室 ・ 貯蔵箱				
貯蔵室又は貯蔵箱の場所		別添図面のとおり				
貯蔵施設の構造		耐火構造（鉄筋コンクリート・金庫・その他（ ））				
措置事項		天井	壁	床	出入口	開口部
しゃへい物	構造					
	材料					
	厚さ					
貯蔵室の出 入口の構造	出入口の数	通常出入口 箇所 ・ 非常口 箇所				
	特定防火設備に該当する防火戸	有 ・ 無				
	閉鎖設備	かぎ ・ その他（ ）				
貯蔵箱の閉鎖設備		かぎ ・ その他（ ）				
貯蔵施設の標識		有 ・ 無				
貯蔵容器の 構造及び 汚染防止 措置	1mの距離における実効線量率	百マイクロシーベルト毎時以下 ・ 超える				
	空気汚染防止措置	有 ・ 無				
	液体のこぼれ防止措置	有 ・ 無				
	浸透防止措置	有 ・ 無				
	貯蔵容器の標識	有 ・ 無				
	貯蔵物の種類及び数量の表示	有 ・ 無				
受皿・吸収剤		有 ・ 無				

※隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した貯蔵室の平面図及び側面図を添付すること。

※貯蔵室の平面図及び側面図は、その各室ごとに線源の中心から天井、床及び周囲の面壁の外側までの距離（メートル）並びに防護物の材料及び厚さを記入した縮図とすること。

ロー 3 運搬容器の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

1m の距離における実効線量	百マイクロシーベルト毎時以下 ・ 超える
空気汚染防止措置	有 ・ 無
液体のこぼれ防止措置	有 ・ 無
浸透防止措置	有 ・ 無
運搬容器の標識	有 ・ 無
運搬物の種類及び数量の表示	有 ・ 無

ロー 4 診療用放射線照射器具により治療を受けている飼育動物を収容する施設の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

建築物の構造		耐火構造・不燃材料				
措置事項		天井	壁	床	出入口	開口部
しゃへい物	構造					
	材料					
	厚さ					
汚染のおそれのある場所の構造設備	突起物、くぼみ	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	目地、すきま	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	平滑施工をした表面仕上	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
	耐腐食性・耐浸透性	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
収容室の標識		有 ・ 無				
汚染検査に必要な放射線測定器		有 ・ 無				
汚染除去用器材		有 ・ 無				
洗浄設備		有 ・ 無				
更衣設備		有 ・ 無				
洗浄設備の排水施設への連結		有 ・ 無				
通気口		有 ・ 無				
通気口の排気口への連結		有 ・ 無				

※隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した治療病室の平面図及び側面図を添付すること。

※治療病室の平面図及び側面図は、その各室ごとに線源の中心から天井、床及び周囲の画壁の外側までの距離（メートル）並びに防護物の材料及び厚さを記入した縮図とすること。

放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示		有 ・ 無
画壁等外側の実効線量が 1 ミリシーベルト／週以下となる措置		有 ・ 無
管理 区域	管理区域を設ける場所	別添図面のとおり
	境界における実効線量が 1.3 ミリシーベルト／3 月以下となる措置	有 ・ 無
	立入制限措置	有 ・ 無
	標識	有 ・ 無
敷地の 境界等	敷地内居住区域及び境界における実効線量が 250 マイクロシーベルト／3 月以下となる措置	有 ・ 無
防護用具の保有状況	有 ・ 無	
取扱者の被ばく測定器	有 ・ 無	
使用室の放射線測定器の保有状況	有 ・ 無 (測定器名： 数量：)	

※管理区域の標識等の位置を使用室の平面図及び側面図中に記入すること。

ハ 診療用放射線照射器具を使用する獣医師の氏名及び放射線診療に関する経歴

氏名	放射線診療に関する経歴（従事年数、研修受講状況等）

※放射線診療に関する経歴欄には、獣医師が放射線診療に携わった場所、従事期間及び研修受講状況等を記入すること。

ニ 放射性同位元素による放射線障害の防止に関する法律第 34 条第 1 項の規定により選任された放射線取扱主任者の氏名

放射線取扱主任者氏名	
------------	--

放射性同位元素装備診療機器に関する構造設備概要書

診療施設名： _____

イ 放射性同位元素装備診療機器の製作者名、型式及び台数並びに装備する放射性同位元素の種類及びベクレル単位をもって表した数量

製作者名	
型式及び台数	
装備する放射性同位元素の種類	
装備する放射性同位元素の数量（ベクレル）	
用途	

ロ 放射性同位元素装備診療機器使用室の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

使用の場所			
建築物の構造		耐火構造 ・ 不燃材料	
使用 室の 防護 物の 概要	しゃへい物	構造、材料、厚さ	
	天井		
	床		
	周囲 の画 壁等	(東)	
		(西)	
		(南)	
(北)			
出入口の扉			
出入口のかぎ・器具等の閉鎖設備		有 ・ 無	
使用室の標識		有 ・ 無	

※隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した放射性同位元素装備診療機器使用室の平面図及び側面図を添付すること。

※放射性同位元素装備診療機器使用室の平面図及び側面図は、その各室ごとに線源の中心から天井、床及び周囲の画壁の外側までの距離（メートル）並びに防護物の材料及び厚さを記入した縮図とすること。

放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示	有 ・ 無
---------------------	-------

診療用放射性同位元素・陽電子断層撮影診療用放射性同位元素に関する構造設備概要書

診療施設名： _____

イ その年に使用を予定する診療用放射性同位元素又は陽電子断層撮影診療用放射性同位元素の種類、形状及びベクレル単位をもって表した数量

ロ ベクレル単位をもって表した診療用放射性同位元素又は陽電子断層撮影診療用放射性同位元素の種類ごとの最大貯蔵予定数量、1日の最大使用予定数量及び3月間の最大使用予定数量

種類				
形状				
年間使用予定数量（ベクレル）				
最大貯蔵予定数量（ベクレル）				
1日最大使用予定数量（ベクレル）				
3月間最大使用予定数量（ベクレル）				

※3月間とは、4月1日、7月1日、10月1日及び1月1日を始期とする3月間とする。

※イ又はロにより届出されている数量等を超える量の診療用放射性同位元素又は陽電子断層撮影診療用放射性同位元素の使用を予定する場合には、同号のハに定める「放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要」の変更にあたるので、変更の届出が必要。

※診療用放射性同位元素又は陽電子断層撮影診療用放射性同位元素を備えなくなったときは、法第3条の規定に基づき、その旨及び規則第19条の2各号に掲げる措置の概要についても届け出なければならない。

ハ 診療用放射性同位元素使用室、陽電子断層撮影診療用放射性同位元素使用室、貯蔵施設、運搬容器及び廃棄施設並びに診療用放射性同位元素又は陽電子断層撮影診療用放射性同位元素により治療を受けている飼育動物を収容する施設の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

ハー1 診療用放射性同位元素使用室・陽電子断層撮影診療用放射性同位元素使用室に関する構造設備及び予防措置の概要

使用の場所						
使用室等の区分	調剤等のための準備室	有 ・ 無				
	診療を行う室	有 ・ 無				
	使用室内収容室	有 ・ 無				
建築物の構造		耐火構造・不燃材料				
措置事項		天井	壁	床	出入口	開口部
しゃへい	構造					

物	材料					
	厚さ					
汚染のおそれのある場所の構造設備	突起物、くぼみ	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	目地、すきま	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	平滑施工をした表面仕上	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
	耐腐食性・耐浸透性	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
出入口	使用室の標識		有 ・ 無			
	汚染検査に必要な放射線測定器		有 ・ 無			
	汚染除去用器材		有 ・ 無			
	洗浄設備		有 ・ 無			
	更衣設備		有 ・ 無			
各室ごとの洗浄設備			有 ・ 無			
洗浄設備の排水施設への連結			有 ・ 無			
診療を行う室の通気口			有 ・ 無			
使用室内収容室の通気口			有 ・ 無			
通気口の排気口への連結			有 ・ 無			
陽電子放射断層撮影装置操作場所			陽電子断層撮影診療用放射性同位元素 使用室外 ・ 使用室内			

※隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した放射性同位元素使用施設(使用室、貯蔵施設、廃棄施設)の平面図及び側面図を添付すること。

※使用室図及び貯蔵施設図は各室ごとに線源の位置、線源から天井、床及び周囲の画壁の外側までの距離(メートル)並びに防護物の材料及び厚さ及び表面の仕上材料を記入した縮図とすること。

ハ-2 貯蔵施設の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

貯蔵の方法	貯蔵室 ・ 貯蔵箱				
貯蔵室又は貯蔵箱の場所	別添図面のとおり				
貯蔵施設の構造	耐火構造(鉄筋コンクリート・金庫・その他())				
措置事項	天井	壁	床	出入口	開口部
しゃへい物	構造				
	材料				

	厚さ					
貯蔵室の出 入口の構造	出入口の数	通常出入口		箇所	・	非常口 箇所
	特定防火設備に該当する防火戸	有		・	無	
	閉鎖設備	かぎ		・	その他 ()	
貯蔵箱の閉鎖設備		かぎ		・	その他 ()	
貯蔵施設の標識		有		・	無	
貯蔵容器の 構造及び 汚染防止 措置	1m の距離における実効線量率	百マイクロシーベルト毎時以下		・	超える	
	空気汚染防止措置	有		・	無	
	液体のこぼれ防止措置	有		・	無	
	浸透防止措置	有		・	無	
	貯蔵容器の標識	有		・	無	
	貯蔵物の種類及び数量の表示	有		・	無	
受皿・吸収剤		有		・	無	

ハ一 3 運搬容器の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

1m の距離における実効線量	百マイクロシーベルト毎時以下		・	超える	
空気汚染防止措置	有		・	無	
液体のこぼれ防止措置	有		・	無	
浸透防止措置	有		・	無	
運搬容器の標識	有		・	無	
運搬物の種類及び数量の表示	有		・	無	

ハ一 4 廃棄施設に関する構造設備及び予防措置の概要

排 水 設 備	構造、容量及び基数	地上式 (六面体等)		・	その他 ()	
	排水監視設備	貯留槽	m ² ×	基	・	希釈槽 m ² × 基
	漏水、浸透、腐食防止措置	有		・	無	
	排液採取設備	有		・	無	
	排液流出調整装置	有		・	無	
	排液処理槽の措置	開口部のふた		・	柵	

	標識		有 ・ 無
排気設備	送風機の能力及び基数		m ² /時 × 基
	排気監視設備		有 ・ 無
	漏水、浸透、腐食防止措置		有 ・ 無
	自動ダンパー装置等		有 ・ 無
	標識		有 ・ 無
焼却する場合の設備	焼却炉	気体、灰が漏れにくい構造	有 ・ 無
		排気設備に連結された構造	有 ・ 無
		搬出口が廃棄作業室に連結	有 ・ 無
	廃棄作業室	突起・くぼみが少ない構造	有 ・ 無
		浸透・腐食しにくい構造	有 ・ 無
		廃棄設備に連結する構造	有 ・ 無
		廃棄作業室である標識	有 ・ 無
	汚染検査室	汚染検査に適した場所に設置	有 ・ 無
		突起・くぼみが少ない構造	有 ・ 無
		浸透・腐食しにくい構造	有 ・ 無
		洗浄設備及び更衣室	有 ・ 無
		汚染検査用放射線測定器	有 ・ 無
		汚染除去に必要な器材	有 ・ 無
		洗浄設備が排水設備に連結	有 ・ 無
汚染検査室である標識		有 ・ 無	
保管設備	外部と区画された構造	有 ・ 無	
	閉鎖設備	かぎ ・ その他 ()	
	耐火構造の措置	有 ・ 無	
	空気汚染防止措置	有 ・ 無	
	漏水、浸透、腐食防止措置	有 ・ 無	
	標識	有 ・ 無	

※排水及び排気の系統を示す廃棄施設図を添付すること。

ハ－5 診療用放射性同位元素又は陽電子断層撮影診療用放射性同位元素により治療を受けている飼育動物を収容する施設の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

建築物の構造		耐火構造・不燃材料				
措置事項		天井	壁	床	出入口	開口部
しゃへい物	構造					
	材料					
	厚さ					
汚染のおそれのある場所の構造設備	突起物、くぼみ	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	目地、すきま	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
	平滑施工をした表面仕上	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
	耐腐食性・耐浸透性	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
収容室の標識			有 ・ 無			
汚染検査に必要な放射線測定器			有 ・ 無			
汚染除去用器材			有 ・ 無			
洗浄設備			有 ・ 無			
更衣設備			有 ・ 無			
洗浄設備の排水施設への連結			有 ・ 無			
通気口			有 ・ 無			
通気口の排気口への連結			有 ・ 無			

放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示		有 ・ 無
画壁等外側の実効線量が1ミリシーベルト/週以下となる措置		有 ・ 無
管理区域	管理区域を設ける場所	別添図面のとおり
	境界における実効線量が1.3ミリシーベルト/3月以下となる措置	有 ・ 無
	立入制限措置	有 ・ 無
	標識	有 ・ 無
敷地の	敷地内居住区域及び境界における実効線量が	有 ・ 無

境界等	250 マイクロシーベルト／3 月以下となる措置	
防護用具の保有状況	有	・ 無
取扱者の被ばく測定器	有	・ 無
使用室の放射線測定器の保有状況	有	・ 無
	(測定器名 :	数量 :)

※管理区域の空気中の放射性同位元素の濃度が別表に定める濃度限度の 1 / 10 以下となる措置の別表とは獣医療法施行規則別表第 3 のこと。

※管理区域の放射性同位元素によって汚染される物の表面密度が別表に定める表面密度の 1 / 10 以下となる措置の別表とは獣医療法施行規則別表第 4 のこと。

※管理区域の標識等の位置を記入すること。

ニ 診療用放射性同位元素または陽電子断層撮影診療用放射性同位元素を使用する獣医師の氏名及び放射線診療に関する経歴

氏名	放射線診療に関する経歴 (従事年数、研修受講状況等)

※放射線診療に関する経歴欄には、獣医師が放射線診療に携わった場所、従事期間及び研修受講状況等を記入すること。

ホ 獣医療法施行規則第 7 条第 1 項の規定により選任された放射線管理責任者の氏名

放射線管理責任者氏名	放射性同位元素の取扱いに関する経歴